

作物名 **らっきょう** (ユリ科)

J A 2022 版

標準作型

○印・植付け □印・収穫

作 型	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
露 地	○											

栽培のポイント

乾燥と暑さ寒さに強い作物で壤土での球の肥大がよく、砂土では品質が良くなる。

タネの準備 大球で無病、首の締りのよいものを選ぶ。

畑の準備 土質は選ばないので砂地でも栽培できる。

元肥 苦土石灰 (8kg/a)、堆肥 (30kg/a) を植付け 2 週間前までに入れ耕起しておく。
普通の畑なら特に肥料は入れなくてよい。

(1 a 当たり使用量)

肥料名	施肥量	施肥時期
化成肥料 14-14-14	8 kg	植付け前

植付け 8 月中～下旬頃に、タネのしっかりしたものを植え付ける。
うね間 30 ㌢、株間 10 ㌢間隔で 7～10 ㌢の深さに植える。小玉目的なら 2～3 球植
えにする (1 球が 5～6 g のものが好ましい。浅植えだとネダニ、深植えにすると
分球が少なくなる)。特にネダニがつくと生育が悪くなるので粒剤を施用する。
発芽後は寒くなる前に敷きわらなどしておく。

中耕・追肥 活着した頃の 10 月中旬と休眠からさめた頃の 4 月上旬頃に育ち具合を見て葉色が淡
いようならば追肥する。

(1 a 当たり使用量)

肥料名	施肥量	施肥時期
NK化成 2 号	3kg	10 月中旬
		4 月上旬

発芽後、敷きわらをし、草丈 10 ㌢ぐらいで冬越しさせる。
翌春 4～5 月に新葉が伸び始めてからは、基本的には追肥は不要だが、春先に葉色が淡
いようなら化成肥料を少量まき、球に直接日光があたって、緑色にならないようにす
るために中耕・土寄せをして球根が土から出ないようにしておく。
2 年目に収穫する (花ラッキョウ) 場合は、植付けた翌夏に葉が枯れるが、そのまま
にしておき、秋口に軽く追肥、中耕を行い、前年と同様に手入れをする。

収 穫 収穫は肥大の完了する 6～7 月ごろ地上部の葉が自然に枯れてきたら、晴天の日に
葉を刈り取り、球根を掘り上げて日陰で 2～3 日乾燥させておく。